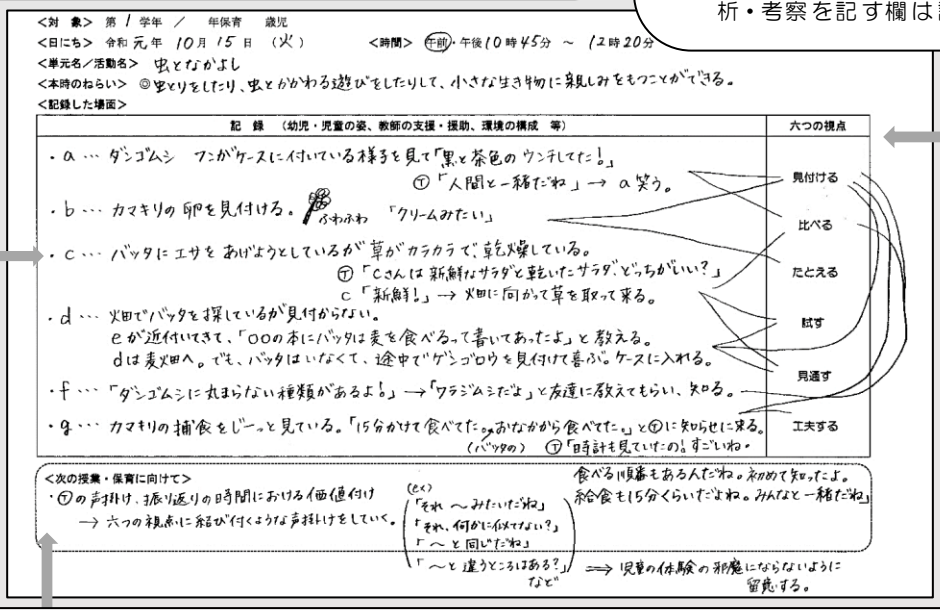
「六つの視点」を活用した記録用紙＜活用例及び使い方＞

資料３

記録用紙（授業者・保育者用）

記録
本時に見られた幼児・児童の行動やつぶやき、表情等を、ありのままに記録する。文字だけではなく絵や図などを用いて記録してもよい。
※　記入する欄を大きく取り、担任が思い起こした幼児・児童の姿を多く書き残せるようにしている。

六つの視点
「記録」に記した幼児・児童の姿を、振り返って分析、考察する際の参考にする。線で結んだり気付いたことをメモしたりしながら、幼児・児童がどのような思いや願いをもっていたのか、どのような経験をしているのかなどを捉える。
※　書くことへの負担を軽減するため、「六つの視点」のみを示し、詳細の分析・考察を記す欄は設けていない。

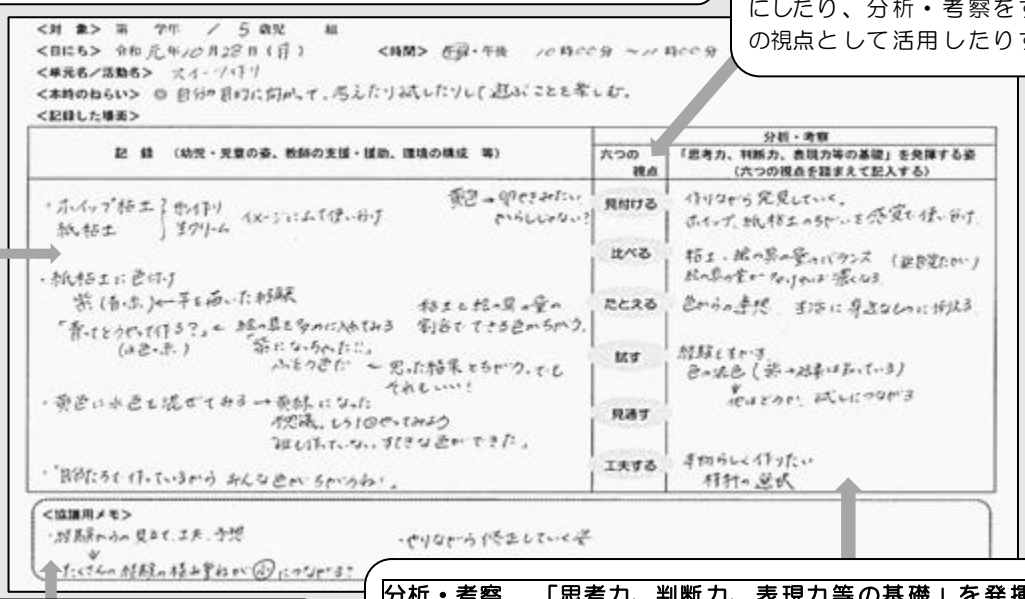


次の授業・保育に向けて　本時の振り返りを受けて、翌日以降の具体的な指導の手だてを考える。

記録用紙（参観者用）

記録　本時の幼児・児童の姿を、ねらいに照らし合わせ、「六つの視点」も参考にしながら、参観者が印象に残った場面を記録する。

分析・考察　六つの視点
記録する場面を選ぶ際の参考にしたり、分析・考察をする際の視点として活用したりする。



協議用メモ
保育者・教師同士で意見交換した内容をメモする。

分析・考察　「思考力、判断力、表現力等の基礎」を発揮する姿
記録した幼児・児童のありのままの姿を、保育・授業参観後に、「六つの視点」を基に丁寧に捉え直し、「思考力、判断力、表現力等の基礎」を発揮する姿をより具体的な姿として表す。